

2022年 3月 8日

京成電鉄株式会社

株式会社イウォレ京成

一般社団法人野菜がつくる未来のカタチ

鉄道で輸送した千葉県産農産物を使ったメニューをレストラン京成友膳で提供

## 貨客混載の実証実験を行います

2022年3月11日(金)～

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)、京成グループのイウォレ京成(本社:千葉県千葉市、社長:東原 光陽)、一般社団法人野菜がつくる未来のカタチ(通称:チバベジ、所在地:千葉県佐倉市、代表理事 鳥海 孝範・高梨 美佳)は、CO2排出量の削減と食品ロスの削減の貢献に向けて、規格外野菜を含む千葉県産の農産物を鉄道の貨客混載で輸送し活用する実証実験を行います。

本実証実験では、3月11日(金)から、一般社団法人野菜がつくる未来のカタチが販売する規格外野菜を含めた千葉県産の農産物を、京成線・京成佐倉駅から列車に積み込み成田空港駅まで輸送し、成田空港内で株式会社イウォレ京成が運営する和食レストラン「京成友膳」で農産物を活用したメニューを提供します。

今回の取り組みにより、京成グループと一般社団法人野菜がつくる未来のカタチが連携し、トラック配送の代替と地産地消の推進によるCO2排出量の削減と、規格外野菜の活用による食品ロスの削減により、SDGs達成に貢献していきたいと考えております。

本件の概要は、次頁の通りです。



チバベジが販売する千葉県産野菜(イメージ)

## 貨客混載・実証実験の概要

### 1. 実施期間

2022年3月11日(金)～約3か月間

※週1回程度実施予定です。

※農産物の収穫状況・列車の運行状況により、変更・中止となる可能性がございます。

### 2. 参加企業・団体・役割

#### (1)京成電鉄

規格外野菜を含めた千葉県産の農産物(以下、農産物)の鉄道輸送(京成佐倉～成田空港間)

#### (2)イウォレ京成

成田空港内で同社が運営する和食レストラン「京成友膳」で、農産物を使ったメニューの提供

##### 【京成友膳について】

成田空港第1ターミナルビル4階に位置する、定食メニューを主体とした和食ファミリーレストランです。魚、肉料理と天ぷら、寿司、そばの組み合わせによる特色ある定食メニューを取り揃えています。

店舗URL：<https://www.iworekeisei.co.jp/restaurant/yuzen/>

#### (3)野菜が作る未来のカタチ(通称:チバベジ)

農産物の提供

##### 【チバベジについて】

農作物を廃棄せずに流通させることで食品ロスをなくすことや、持続的な農業の仕組みづくりを通じて持続可能な社会をつくることを目指し、規格外野菜の販売や農業体験などに取り組んでいます。

URL：<https://chibavege.jp/>

### 3. 輸送の流れ



チバベジが農産物を  
京成佐倉駅へ持ち込み



イウォレ京成が京成友膳(成田空港)で  
農産物を活用したメニュー提供

#### 4. 輸送する農産物

かぼちゃ、なす、とろろ芋、しいたけ など

※いずれも千葉県産の農産物です。

※一部に規格外野菜を含みます。

※農産物の収穫状況により、変更となる場合があります。

#### 5. SDGsへの貢献について

トラック配送の代替と  
地産地消の推進による  
CO2 排出量の削減



規格外野菜の  
活用による  
食品ロスの削減



以 上